

# 令和6年度事業計画書

## 1 令和6年度事業運営方針

ウクライナやパレスチナの紛争を巡り国際社会が分断され、国際法に基づく秩序の回復が待たれている。令和6年度の事業運営は「国際社会に貢献する国際法研究並びに人材の育成」及び「世界平和を希求し続けてきた安達峰一郎の研究、業績の普及」に努めると共に、一段と良好化した財政の基、公益法人として適正且つ時代の要求に即した業務の整備と遂行を進める。

## 2 事業展開

### (1) 公益事業1 表彰事業

#### ●安達峰一郎記念賞（第57回）

国際法に関する優秀な研究業績をあげた個人に対し授与するもので、昭和43年に制定され令和5年までに58名が受賞している。

本年度は、令和5年1月～令和6年4月までの16ヶ月間に国内または国外において公表された国際法に関する研究業績（論文または著書）に対し推薦された候補者の中から「記念賞選考委員会」において受賞者を選考し、記念賞として「安達峰一郎記念銀製メダル」と副賞80万円を贈呈する。また、前年同様、推薦依頼者・学会等の協力を得て候補者を募ると共に、関係各位多数の参加のもと贈賞式を開催し、記念賞のブランド化並びに国際平和を追求した安達峰一郎の業績を啓蒙する。

### (2) 公益事業2 研究助成・調査研究事業

#### ●安達峰一郎記念国際法奨学金制度（第60回）

国際社会に貢献する人材の育成に資するべく、国際法の研究者への支援を目的に、昭和40年に発足し、令和5年までに238名の奨学生を輩出している。

国際法を研究する奨学生候補者の応募に対し、年度初めに「奨学生選考委員会」を開催し、応募時の研究テーマの内容を基に、本年度の奨学生5名程度を選考し令和6年4月～令和7年3月まで、一人当たり毎月6万円（年額72万円）の給付型奨学金を支給する。

令和7年2月頃「研究報告会」において、奨学生各人より応募時の研究テーマに対する報告を受け、今後の研究へのアドバイスを行う。

本年度もグローバル化の進行する国際社会に対応できるように、狭義の国際公法の枠にとらわれることなく実務志向の大学院生にも幅広く奨学生の応募を促進する。募集対象大学院は、法科大学院・公共政策大学院をあわせた71校に国際法奨学生の推薦を依頼する。

●研究助成

一般社団法人国際法協会日本支部等国際法研究諸機関に対する研究助成を継続し、国際法研究の一助とする。

●研究資料の整備及び提供

安達峰一郎の業績研究推進の一環として下記の研究資料の整備を行う。

- ・アクセス可能な研究資料の全容調査と目録整備の継続
- ・国連ホームページ上で公開が始まった各種の国際連盟関連資料の調査を継続

●美術品（収蔵絵画）修復事業

- ・令和3年度より5ヵ年計画で始めた基本財産の一部である安達峰一郎の遺品のうち収蔵絵画修復の対象：43作品中、16点(令和3年度・4年度分)+7点(令和5年度分)の修復が終了した。
- ・前年度、東北芸術工科大学との業務委託契約により、令和7年度に修復完了となる7点(大型西洋画3点、東洋画4点)を依頼中である。
- ・前年度より東北芸術工科大学の絵画修復実習授業用として、C評価以下の10点を貸出している。
- ・令和6年度は中右恵理子氏に西洋画3点、坂本雅美氏に東洋画4点を修復依頼する。
- ・修復済み収蔵絵画等の事務所内展示に伴う準備を進め、寄託展示を含め開示方法等の検討を行う。

(3) 公益事業3 広報事業等

●安達峰一郎の業績研究・普及に努め、当財団の活動への理解を増進

- ・財団パンフレット記載内容の精査と改訂
- ・ホームページ上の「お知らせ」更新内容を関係先に通知し、周知を徹底
- ・ホームページ上での関係機関、団体との連携強化の取り組みを継続
- ・ホームページの新コンテンツ「100年前の安達峰一郎」の年次掲載
- ・安達峰一郎に関する講演会等の開催検討

●国際法学会発行の「国際法外交雑誌」への記念賞受賞に対する情報提供

●関係機関への協力

- ・国際平和と国連思想の普及に関する事業

公益財団法人日本国際連合協会主催の事業につき、引続き協賛支援を行う。

「国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」(第72回)

「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」(第64回)

- ・安達峰一郎の出身地である山形県山辺町の山辺中学校3年生のうち、学業成績が特に優秀でかつ模範となる者への「安達峰一郎奨学賞」(第47回)の贈呈

### 3 事業資金の調達

令和6年度事業資金の調達は次による。

○長期国債

	数量	利率/配当	利金/配当額
--	----	-------	--------

40年国債#8	20,000	1.40%	280,000円
30年国債#80	600,000	1.80%	10,800,000円
小計	620,000		11,080,000円

○株式

(株)みずほFG	(58,700)	100円	5,870,000円
日本電信電話(株)	(3,190,000)	5円	15,950,000円
小計			21,820,000円
合計			32,900,000円

#### 4 令和6年度事業日程

令和6年4月	安達峰一郎国際法奨学生選考委員会 令和5年度監査
5月	研究助成金交付 第1回理事会 (令和5年度事業報告・決算報告、職務執行報告他)
6月	定時評議員会 (令和5年度事業報告・決算報告他) 山辺町安達峰一郎顕彰会総会
9月	安達峰一郎記念賞選考委員会
10月	(公財)日本国際連合協会主催 「国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」審査 並びに「国際理解・国際協力のための全国中学生コンテスト」 協賛
11月	安達峰一郎記念賞贈賞式 山形大学・山辺町共催「安達峰一郎記念世界平和弁論大会」
令和7年2月	安達峰一郎国際法奨学生研究報告会
3月	安達峰一郎奨学賞贈呈 第2回理事会 (令和7年度事業計画・収支予算、職務執行報告他) 臨時評議員会 (令和7年度事業計画・収支予算他)

以上